

Cタンクエリア内堰の配管貫通部からの 雨水の外堰内への漏えいについて

< 参考資料 >
2015年9月10日
東京電力株式会社

<経緯>

9月9日、汚染水タンクエリアをパトロールしていた協力企業作業員が、17時38分、C東およびC西エリア内堰の配管貫通部（計2箇所）から、それぞれ鉛筆1本分程度の雨水が出ていることを発見した。その後、18時28分、当社社員が当該箇所を確認し、2箇所とも内堰の配管貫通部から外堰内への漏えいであると判断した。

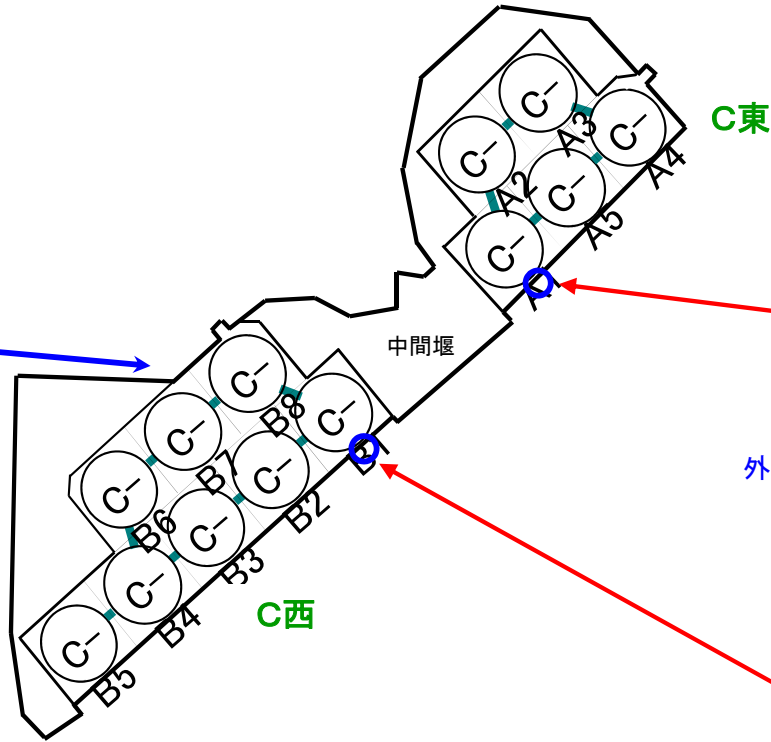
<時系列>

- 9/9 11時40分 パトロールにて堰からの漏えいがないことを確認
- 9/9 16時15分 Cエリア外堰排水弁「閉」
- 9/9 17時38分 パトロール中の協力企業作業員が配管貫通部（計2箇所）からの雨水の流出を発見
- 9/9 18時28分 当社社員が当該箇所を確認し、2箇所とも内堰の配管貫通部から外堰内への漏えいであると判断。詰め物による止水措置開始
- 9/9 19時04分 C→H5エリアへの堰内水移送開始
- 9/9 19時38分 C西エリア側貫通部の詰め物による止水措置完了（にじみ程度に減少）
- 9/9 20時20分 C東エリア側貫通部の漏えい停止（移送による堰内水レベル下げによる）
- 9/9 22時07分 C西エリア側貫通部の漏えい停止（ // ）
- 9/9 22時18分 外堰の雨水回収終了。これにより漏えい拡大防止措置完了
- 9/9 22時25分 Cエリア配管貫通部（計2箇所）の目地材による止水措置完了
- 9/10 10時02分 配管貫通部の止水措置が完了したこと、外堰に溜まった雨水の回収が完了したこと、および外堰の全ベータの分析結果が44Bq/Lで降雨時のC排水路の値より低いこと等から、Cエリア外堰排水弁を「開」

<外堰内の雨水の分析結果>

セシウム134：ND（0.7Bq/L）、セシウム137：1.1Bq/L、全ベータ：44Bq/L

<発生場所・状況等>



配管貫通部下部より漏えい
(鉛筆1本分程度)

<止水措置>

配管貫通部を堰内側から
目地材で止水措置実施



止水措置実施状況